

SNS ツール選定理由

LINE オープンチャットの特徴

1. トークルームごとにプロフィールを設定可能です。

LINE に登録している名前とプロフィール画像は同期されず、個々に設定することができます。

2. トークルームへの招待が URL や QR コードの共有で簡単にできます。

LINE の友だち登録をしなくとも、グループトークでコミュニケーションができます。

3. グループトークには最大 5000 人まで参加が可能です。

LINE グループでは 500 人までしか参加できませんが、オープンチャットでは 5000 人まで参加可能です。また、さらに拡張することも可能です。

4. サブトークルーム機能

1 つのオープンチャットの中に複数の小トークルームを生成することができ、例えば話題別にトークルームを分けて会話することができます。

5. ライブトーク機能

テキストだけでなく、音声でもメンバーとリアルタイムでコミュニケーションが可能です。

6. モデレーション機能により、メンバーを管理することができます。

管理者がルールを設定したり、メンバーを管理することができます。荒らし対策やルール違反者の制御が可能です。

7. 途中でグループに参加しても、過去のトーク履歴を遡ることができます。

選定理由

LINE はサービス利用者が多く、無料で参加可能であり、外部との連携がとりやすく、JC との親和性が高いと考えます。中でも LINE オープンチャットは、管理者の移行が容易なため引継ぎがしやすく、個人情報を保護しつつコミュニケーションが取れるという観点から選定しました。

その他比較対象

○Slack

- ・チャネルやスレッドの要約、検索など、AIを活用した機能
- ・ログイン状態の把握
- ・Google Calendar や Trello などの他のツールとの連携
- ・ハドル機能などの通話機能
- ・canvas によるナレッジの共有
- ・リストによるプロジェクトやタスクの管理

○Facebook

- ・実名登録制で、実生活に根付きやすい
- ・写真や動画のほか、リンクや記事、ストーリー、クイズなど、さまざまなタイプのコンテンツを投稿できる

○Discord

- ・招待制のサーバーでコミュニケーションが取れる
- ・音声とテキストの両方でやりとりが可能
- ・シンプルで使いやすい操作性
- ・メンバーの管理が楽にできる
- ・メッセージはデフォルトで暗号化される
- ・プライバシーオプションが充実している
- ・匿名で利用できる

	JC活動との親和性	無料で可能な人数	個人情報保護	外部との連携	引継ぎのしやすさ
LINEオープンチャット	○	5000	○	○	○
Slack	△	1000	×	△	△
Facebook	△	6000	×	○	△
Discord	×	100000	△	△	○